

飴からは

援けあって

此の飴は同胞援護資
金を本會に寄附して
下さった方に
五圓につき拾個の割合
で謝意を表す為にさし
あげるものです

この冬を

恩賜 財團 同胞援護會 群馬縣支部

20[ポスター]はらから飴 援けあってこの冬を

昭和26(1951)年以前

同胞援護會群馬縣支部が販売した「はらから飴」の宣伝ポスターです。

飴の売上は福祉事業の財源として用いられ、県民が互いに支え合う精神を象徴する取り組みでした。彩色を施したポスターで、当時の募金活動の雰囲気をよく伝えています。

西片恭子家文書『[ポスター]はらから飴 援けあってこの冬を』(P01506 158)